



## NEWS RELEASE

株式会社 すららネット  
2026年6月15日

# 全国初の中高一貫工科高校附属中 愛知総合工科高等学校附属中学校で AI 教材「すらら」導入 自律した学習者育成を支える学びの基盤をサポート

AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）が提供する「すらら」が、2026年4月に開校した愛知県立愛知総合工科高等学校附属中学校（愛知県名古屋市中区）において導入されました。初年度入学した35名の生徒が、「すらら」の活用をスタートしています。



愛知県立  
愛知総合工科高等学校附属中学校



同校は、中高一貫教育を展開する工科高校として全国初の取り組みであり、前例のない教育モデルとして注目されています。ものづくり産業が盛んな地域特性を背景に、将来の産業を担う人材の育成を目指すとともに、「自律した学習者の育成」を教育の柱に掲げています。その実現に向けて、生徒が多様な体験を通じて自らの興味関心を見つける「チャレンジ100」、複数の教員で生徒を支えるチーム担任制、各教科における探究的な授業などを展開していきます。

こうした教育においては、生徒が教科学習の基礎を着実に身につけることが求められます。同校では、学びの土台づくりとして、国語・数学・英語・理科・社会5教科の基礎学習に「すらら」を活用します。生徒一人ひとりの理解度に応じて学び直しや、教科「情報」を含め、発展多岐な学習ができる環境を整えることで、探究的な学びに主体的に向き合うための基盤を築きます。

「すらら」は、アニメーションによる分かりやすいレクチャーと AI による最適な問題提示により、生徒の理解度に応じて学習内容や難易度を自動調整します。学習状況の可視化や個別復習課題の自動生成により、基礎学力の定着を支援するとともに、つまづきをその場で解消しながら学習を進めることが可能です。

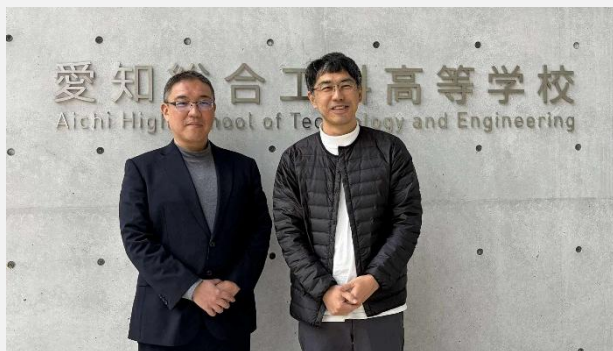
同校では、多くの中学校で行われているような定期テストに代わり、理解度を図り成績資料となる「単元テスト」と、生徒が自己の理解度を知り、調整力を働かせるもととなる資料の「実力テスト」が重要なテスト形式となっています。その中で「すらら」は、学習データに基づき理解度を可視化し、復習課題を自動で提示することで、「単元テスト」と連動した学習サイクルを支えます。これにより、生徒は「わかる」「できる」という成功体験を重ねながら、主体的に学びを進めることが可能となります。

さらに、テスト作成や採点の効率化などにより教員の業務負担軽減にも寄与し、教員は生徒との対話や探究活動の伴走といった本質的な指導に注力できる環境が整います。

本導入により、同校では「チャレンジ 100」による多様な体験と教科学習を結びつけながら、生徒が自ら課題を見つけ、学び続ける力を育成していきます。

### 愛知県立愛知総合工科高等学校附属中学校 副校長・恩田健司さまコメント

生徒自らが学習や体験を振り返り、次の目標・課題を見つけていく—その積み重ねこそが本校の目指す「自律した学習者」の姿です。そしてそのような自律した学習者の育成には、生徒が「自分の学びを自分で育てていく」力を、日々の学習の中で自然に身につけていく必要があります。「すらら」の導入を決めたのは、生徒が自分のペースで基礎を固め、次の学びへ進むための心強い伴走者となってくれると考えたためです。



開校に尽力された恩田副校長（左）と櫛田教諭（右）

基礎的な学力を自らのペースで着実に固めることは、探究的な学びに向かう土台となります。「すらら」の力を借りながら、5教科に加えて情報や工学的内容にも主体的に触れられる環境を通して、学ぶことへの自信と意欲を育み、本校の生徒たちがこれからのものづくり社会を支える人材へと成長していく姿を期待しています。

すららネットは今後も、先進的な教育実践を支援しながら、多様な子どもたち一人ひとりが「わかる・できる・たのしい」を実感できる学びの実現に貢献してまいります。

### ■AI×アダプティブラーニング教材「すらら」

「すらら」は、小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会、情報Ⅰの6教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブな ICT 教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人ひとりの学力に応じて理解→定着→活用のサイクルを繰り返し、学習内容の理解と定着をワンストップで実現します。初めて学習する分野でも一人で学習を進めることができるのが特長で、学習塾をはじめ、小・中・高校、高等教育機関、放課後等デイサービスや個人学習等幅広い活用が広がっています。

## ■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AIを活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の 3,100 校以上の学校や学習塾で導入され、約 26 万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017 年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp/>